



救命処置の流れ

1 反応を確認する

●耳もとで「大丈夫ですか」または「もしもし」と大声で呼びかけながら、肩を軽くたたき、反応があるかないかをみます。

2 助けを呼ぶ

●反応がなければ、大きな声で「誰かきて！人が倒れています」と助けを求めます。●協力者が来たら、「あなたは119番へ通報してください」「あなたはAEDを持ってきてください」と要請します。

3 気道の確保

●片手を額に当て、もう一方の手の人差指と中指の2本をあご先（骨のある硬い部分）に当てて、頭を後ろにのけぞらせ、あご先を上げて気道を確保します。

4 呼吸の確認

●気道を確保した状態で、自分の顔を傷病者の胸に向けながら、頬を傷病者の口・鼻に近づけます。●10秒以内に、①胸や腹部の上がり下がりを見て、②息の音を聞いて、③頬で息を感じます。

5 人工呼吸

●気道を確保したまま、額に当てた手の親指と人差指で傷病者の鼻をつまみます。●口を大きくあけて傷病者の口を覆い、空気が漏れないようにして、息を1秒かけて吹き込みます。傷病者の胸が持ち上がるのを確認します。●いったん口を離し、同じ要領でもう1回吹き込みます。

6 心臓マッサージ

●胸の真ん中を、重ねた両手で垂直に30回「強く、速く、絶え間なく」圧迫します。●人工呼吸2回・心臓マッサージ30回を繰り返します。

7 AEDの使用

●AEDが届いたら音声に従ってください。
①電極パッドを傷病者の右上と左下の胸に貼りつけます。②自動的に心電図の解析が始まりますので、傷病者に触れないでください。③電気ショックが必要な場合は、自動的に充電が始まり準備ができたなら「ショックボタンを押してください」という音声流れますので、誰も傷病者に触れていないことを確認し、ボタンを押します。④電気ショックが完了すると、「ただちに心臓マッサージを開始してください」などと音声流れますので、これに従って心臓マッサージ30回・人工呼吸2回の組み合わせを5サイクルほど繰り返します。⑤2分ほど経ったらAEDが再び自動的に心電図の解析をはじめますので、音声に従ってください。



生死を分けるのは、心臓停止から3分。救急車が到着するまでに平均6分。その間、救命処置をしなければ…

■救急車が到着するまでに心臓や呼吸が停止している場合、生死を分けるのは、心臓停止から3分。3分を超えると酸素不足による脳障害が発生し、生存率は激減します。救急車が到着するまでに平常時で平均6分。災害時には、119番通報すら困難になることも考えられます。命を救うためには、現場にいる私たちが救命処置を実施することが必要不可欠です。大切な人を守り抜くためにも、日頃から救命処置の知識や技術を身に付けておくことが大切です。

町内AED配備施設

| | | |
|------|---------------|----|
| 北檜山区 | 渡島信用金庫北檜山支店 | 1台 |
| | アークシティキタヒヤマ | 1台 |
| | 北海道檜山北高等学校 | 2台 |
| 瀬棚区 | せたな町立瀬棚商業高等学校 | 1台 |
| | 渡島信用金庫瀬棚支店 | 1台 |
| 大成区 | せたな町立大成中学校 | 1台 |
| | 渡島信用金庫久遠支店 | 1台 |

AEDとは、心臓が停止してしまった時に蘇生をする為の電気ショックを行う機器です。

防災

災害に備えて安心 我が家の防災

せたな警察署からのお願い

事前の準備と心構え

ここ数年、全国的に地震・河川の急激な増水等、様々な災害が発生して大きな被害が出ており、ここ檜山地方も例外ではありません。

地域の皆さん一人ひとりが、“自分と家族の命を守る”ため平素から地震・台風などによる災害への備えが大切です！

平素の準備と心構え

- 最低限の「非常持出品（貴重品・飲料水・非常食・電灯類）等」を一つにまとめ、直ぐに持ち出せるようにしておく
- テレビ、ラジオ、携帯電話等で常に新しい気象・災害情報を手に入れる
- 家族がバラバラになったときの連絡方法や、避難場所を決めておくなど

「もし災害に遭ったら…」とイメージするだけで、いろいろな問題が思い浮かびます。

問い合わせ先

せたな警察署
☎0137-84-6110



固定電話

携帯電話

せたな消防署
各支署

江差消防署

転送

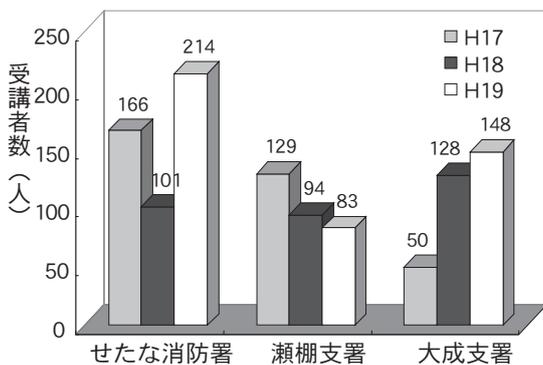
携帯電話から119番通報した場合、まず江差消防署にかけます！その後、直ちに各区の消防署・支署に転送されて救急車もしくは消防車が出動することになります。

■ご存知ですか？携帯電話から119番通報した場合

■119番は問い合わせ番号ではありません

- サイレンが鳴ると、火災情報や119番に問い合わせる人がいます。電話回線が限られていますので、問い合わせが重なる場合、本来の119番通報が受けられなくなり、情報の問い合わせは、119番ではなく、次の番号へおかけください。
- ・せたな消防署
☎0137-84-5709
 - ・せたな消防署 瀬棚支署
☎0137-87-3344
 - ・せたな消防署 大成支署
☎01398-4-5401

救命講習受講者数の推移



■訓練をしてみませんか？
消防では、9月9日の「救急の日」にちなんで、「救命講習」を実施します。詳細が決まりしだいご案内しますので、たくさんのご参加お待ちしております。

その他、消火訓練、避難訓練も実施しています。開催ご希望の方は、お気軽に消防までご連絡ください。

災害が発生したら、まず大事なのは、自分の身は自分で守るといふ「自助」、そして家族や地域で助け合う「共助」、そして最後に行政による「公助」です。行政や消防は災害が発生した場、救助や支援を行います。災害が大きくなればなるほど、「公助」の機能が行き届かなくなる恐れがあります。

実際に、平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、倒れた建物の中から救出された人の6割が共助である「近所の人」によって救出されました。

15年前の北海道南西沖地震の時、共に生きるために私たちは手をつなぎ、心を一つにしました。そのつないだ手を、一つにした心をいつまでも忘れず、その思いを未来につなぐことの大切さを感じます。